

生産は 9 業種で低下し 6 カ月ぶりにマイナス、消費は 4 カ月連続のプラス

1月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、6カ月ぶりに前年同月比マイナスとなった。電子部品・デバイス工業（前年同月比▲13.6%）や汎用・生産用機械工業（同▲4.7%）など9業種が低下した。

2月の大型小売店販売額（百貨店・スーパー）は、既存店（店舗調整後ベース）で同+1.2%と4カ月連続のプラス、専門量販店別では、ドラッグストアが同+2.3%と33カ月連続のプラスとなった。

2月の有効求人倍率（季節調整済）は、前月比低下の1.19倍となり、全国平均（1.24倍）を下回った。

各指数の矢印については
現状の景況感をあらわす。



上向き



横ばい



下向き

鉱工業生産指数



6 カ月ぶりに前年比マイナス（1 月）

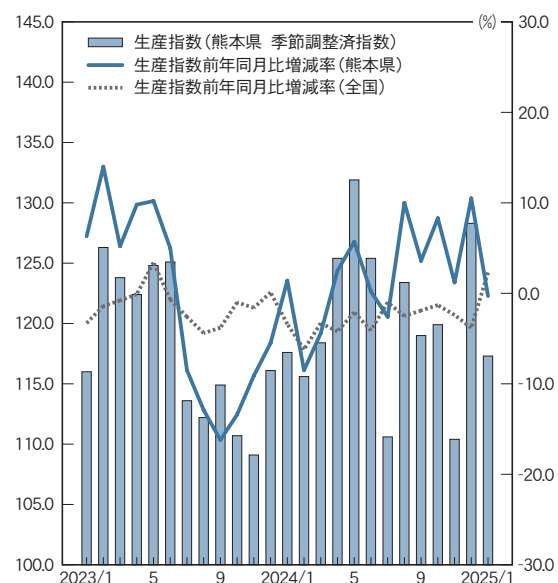
1月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、速報値で前年同月比▲0.3%の117.3となり、6カ月ぶりに前年実績を下回った。

生産指数（季節調整済）を業種別にみると、電子部品・デバイス工業（前年同月比▲13.6%）や汎用・生産用機械工業（同▲4.7%）など9業種が低下した。一方、輸送機械工業（同+23.2%）や化学工業（同+42.2%）など7業種が上昇した。

生産指数は前月比では8.6%低下。業種別寄与度を見ると、汎用・生産用機械工業が▲14.00ポイント、電子部品・デバイス工業が▲0.31ポイント、窯業・土石製品工業が▲0.13ポイントとなり、全体の生産指数を押し下げた。

なお、電子部品・デバイス工業の分類に含まれる集積回路（原指数）は139.2（前年同月比▲13.5%）と下落した。

鉱工業生産指数前年同月比（2020年=100 季節調整済）



※最新月は速報値

資料：熊本県統計調査課、経済産業省

住宅着工



着工戸数は3カ月連続の前年比マイナス(2月)

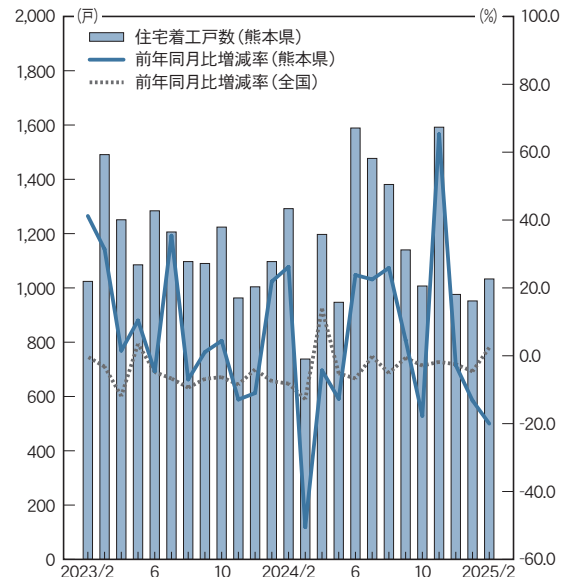
2月の新設住宅着工戸数は1,033戸となり、前年同月比▲20.0%で3カ月連続のマイナスとなった。

利用関係別にみると、持家が306戸（前年同月比+15.5%）、貸家は452戸（同▲50.3%）、分譲は275戸（同+147.7%）となっている。

持家は3カ月ぶりに前年同月比プラスとなった。また、2024年11月に大きく増加した貸家の着工戸数も3カ月連続のマイナスとなった。

なお、全国の2月の新設住宅着工戸数は、60,583戸（同+2.4%）となっており、10カ月ぶりにプラスとなった。

新設住宅着工戸数前年同月比



資料：国土交通省

公共工事



請負金額は前年比マイナス(3月)

3月の公共工事件数は536件で前年同月比+4.5%、請負金額は370億10百万円で同▲4.1%と減少した。

以降は会員専用ページにて公開しております。

ご覧頂くには、入会手続き後、会員専用ページよりアクセスをお願いします。

[ご入会はこちらから](#)

(入力は数分で終わります)

[会員の方はこちらから](#)

公共工事請負金額前年同月比

